



ひまわりガーデン代官山坂 ひまわり育成プロジェクトは10年目を迎えました！

ひまわりガーデン実行委員会運営委員長（代スキ会会員） 米本 豊

10年前、この場所は道路予定地だったため、ごみの不法投棄の場所でした。私は、当時D-cleanersという代官山を愛する人たちによる清掃活動に参加していて、この場所が代官山のごみの多い場所の一つで、何とかしたいと思っていました。

その後、代官山インスタレーションの作品設置を機に、地元の民生委員から活用提案があり、代スキ会のメンバーと共に実行委員会が立ち上がり、「新旧地域住民の活性化、地域の子どもとのつながりをテーマ」に、ひまわり活動を通したコミュニケーションの場所にする提案がなされました。

このひまわりの花を育てる活動は、多くの地元の方々、地元関連企業等のご支援を頂き、区立代官山保育園、区立恵比寿保育園、鷺谷さくら幼稚園の園児たち、区立猿楽小学校二年生の生徒たち、その後、子育て支援センターの幼児も加わり、代官山地域の人々、来訪者も加わり、5月連休に約550区画にタネを植え育てています。

この活動は、毎年代官山春花祭のひまわりの種植えとして定着し、参加者は牛乳パックを使ったエコ名札を作り、タネを植え、鳥・虫保護対策用のペットボトルをかぶせます。

その後、実行委員会のメンバー、サポートいただく方々により、5月末に本葉が出たところでペットボトルをはずし、6月中には水やり、ひまわりの間引きなどの手入れ、年によっては、暴風雨により倒れた茎を棒で支える作業を行い、7月終わりから8月末まで、ひまわり観賞日として開放されます。また、期間中には夕涼み会が催されヨーヨー、花火に、多くの家族が参加し、代官山の夏の風物詩となっています。

地域の子どもたち、地域住民、地域を訪れた人々に、ひまわりの育成を通して、8月に咲いたひまわりが語りかけ、代官山地域のイメージアップになればと10年間活動をやってきました。この活動を通じ東北復興支援、桜ヶ丘のみづばちプロジェクト、ラビットラン等様々な活動とつながり、国学院のみなさんにもお手伝いを頂き、多くの連携が出来てきました。今後とも、ひまわりガーデン代官山坂の活動が、多くの人と人のつながりをつくり続けることを願っています。



2周年を迎えた「代官山ミーティング」

代官山ミーティング世話人(代スキ会事務局) 二俣 総一朗 info@gw-daikanyama.org

「代官山ミーティング」は、2009～2011年の3ヵ年にわたり実施された、東京商工会議所渋谷支部による「代官山“ブランド”パワーアップ事業(東京都シナジースキーム事業)」と連携して開催されていた「ブランチミーティング」が、同事業終了後に途絶えていたものを復活させるため、代スキ会メンバー有志4名が世話人となり、2013年6月にスタートしました。

このミーティングは、毎月1回不定期で、参加しやすいよう午前の部(9:00～11:00頃)と夜の部(20:00～22:00頃)を交互に開催するとともに、毎回会場を変えています。

特に議題は設けず、代官山に思い入れのある参加者同士で自由に会話し相互理解を深めていただくと同時に、各人の面識を広めていただくことを目的としています。

参加の呼びかけは、インターネット上などで入手出来た、代官山エリア内の店舗、事業所および在住者のメールアドレス宛てに配信しており、これまで(25回)の参加者数は150名に達し、延べ人数は250名を超えていました。

このミーティングは、代スキ会が支援する「ひまわりガーデン代官山坂」、「代官山春花祭」、「代官山コンシェルジュ」といった活動をはじめ、代官山エリア内で実施されている様々な地域活動への参加のきっかけのひとつとなっており、今後も代官山に関わる人々の共通理解と協働の輪の拡大に貢献してゆければと思います。

